

# 令和元年度 成年後見周知ワーキング 活動方針

## 【これまでの経過】

- ・H28～29年度地域生活移行部会の課題(精神障害分野)として、「身元引受人」に関する課題の提案がされた。
- ・「身元引受人」に関する何に困っているかを医療機関や施設等を対象にアンケート調査を実施。また、実際に成年後見の実務を担っている方から、成年後見制度で対応できる部分はあるのかどうか等情報交換を実施。その結果、成年後見制度が担える部分があることや、支援者が成年後見制度について知らないことが多いことがわかった。
- ・上記を受け、H30年度ワーキングにて成年後見制度の支援者向け研修会の企画・立案を行い、研修会を実施した。

## 【今年度の方針】

H30年度に実施した支援者向け研修会の効果及び成果等の確認を目的としたモニタリングを実施する。

## 【具体的活動(取り組み)内容】

- (1)研修参加者を対象として、研修会参加後の成年後見制度の手続等に関する調査の実施。
  - 研修参加をきっかけに成年後見制度の手続きを着手した参加者がいたかどうかの確認を行う。
  - 手続きに至っていない場合は、手続きに至っていない場合の理由の確認を行う。  
(対象者がいなかったのか、対象者はいたが手続きを行わなかった(行えなかった)のか等。)
- (2)今後の研修会実施継続に伴う確認を実施する。  
研修参加者等に対して、長岡市において成年後見制度の支援者向け研修会の継続の必要性について確認を行う。